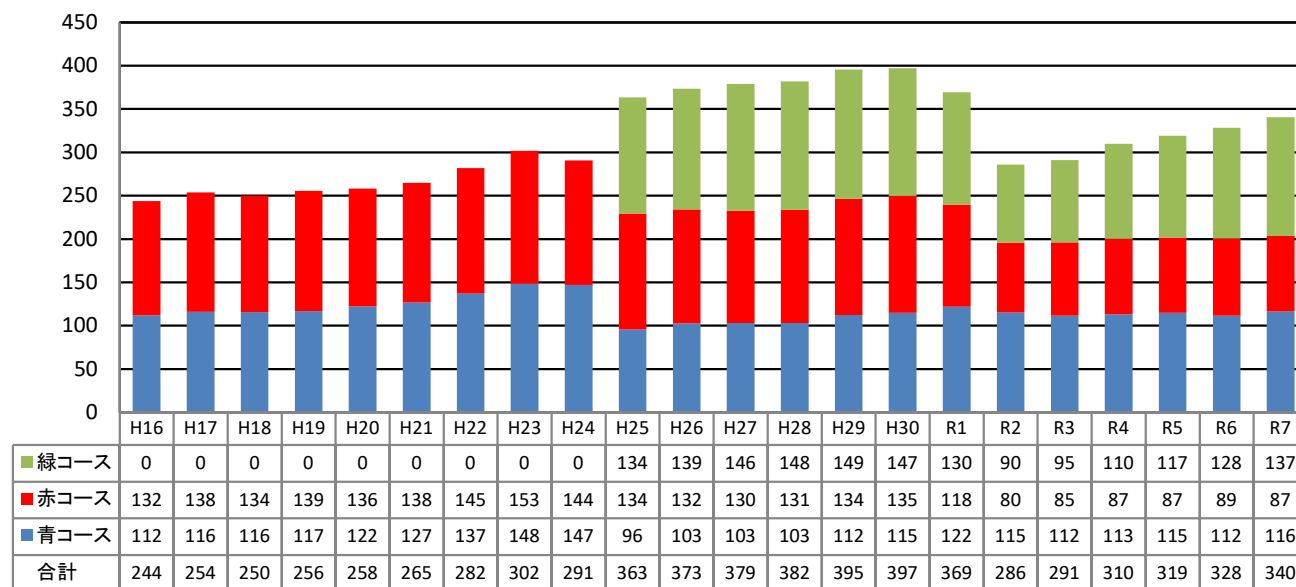


(単位:千人)

各コース別 年間利用者数の推移



1 状況

○コロナ禍により激減した利用者数は、全体的に回復傾向にある。(上のグラフ)

○令和元年度以降、燃料費・物価の高騰や人員確保に必要な人件費の上昇、老朽化した車両の修繕費の増加などにより運行経費が急増中。(下のグラフ)

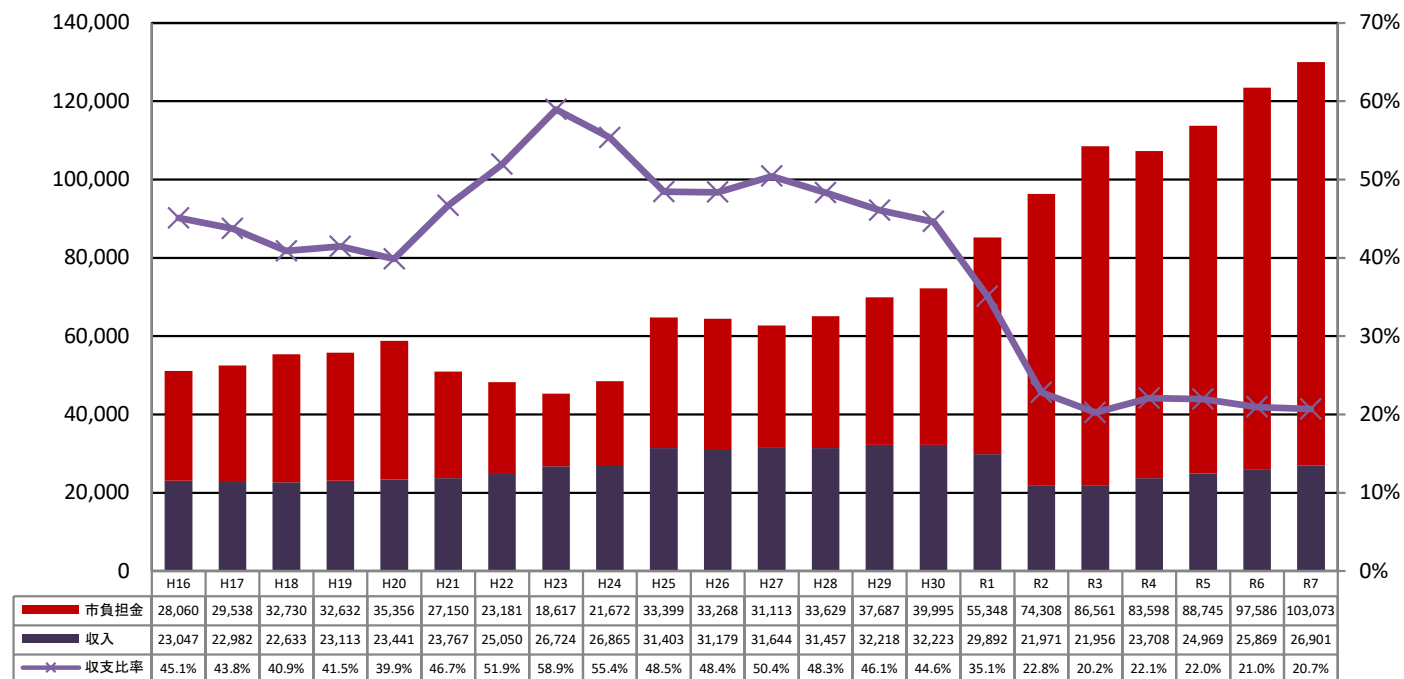
○収支率は、20.7%まで落ち込み、運行経費の約8割を公費で負担。(下のグラフ)

○利用促進や運行効率化に取り組んでいるが、今後も厳しい運営状況が予想される。

(単位:千円)

くる梨 運行経費・収入の推移

(収支率)



2 検討経過

令和7年9月 くる梨に関する利用実態調査アンケート調査の実施

《適宜》 事業者と収支改善策について協議(効率化や運賃改定等)

令和8年5月 鳥取市生活交通会議へ報告

7月 生活交通会議内に設置した運賃WGにて運賃改定の協議

(生活交通会議での意見)
運行経費が上昇し、運賃収入とのバランスが取れていない。今の状態では持続が無理ということが分かる。利用者の声もあるが、一方で納税者の声もある。未永く必要な方へサービスを届けていくことが使命。議論が必要。

調査方法 ①令和7年度鳥取市公式LINE登録者(41,431人)に対してLINEアンケート
 ②令和7年度鳥取市広報モニター(87人)に対してウェブアンケート
 ③鳥取バスターミナル、とりぎん文化会館での聞き取り調査

調査時期 令和7年9月

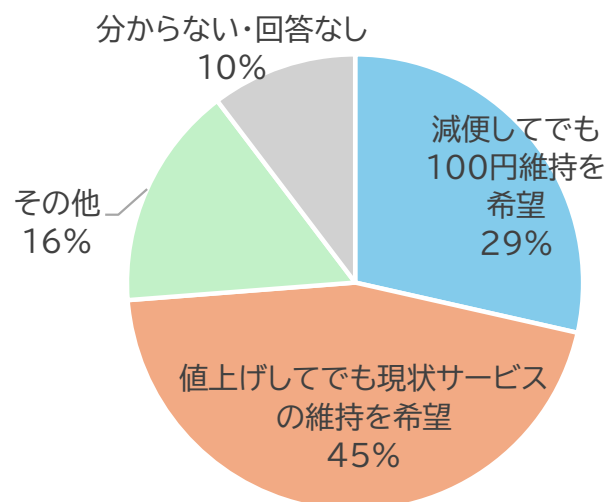
回答者数 1,170人 ※過去1年のくる梨利用経験 ある724人(62%)、ない446人(38%)

※設問のリード文

くる梨は、運賃100円(路線バスの初乗り運賃は170円)と安価で利用できますが、赤字運行となっており、多額の公費(年間約8,000万円)で補填しています。このことをふまえて、運賃に対するご意見を教えてください。

Q くる梨を利用する頻度をお答えください。		
	件数	%
ほぼ毎日	61	8.4%
週に3～5回	68	9.4%
週に1～2回	112	15.5%
月に1～2回	175	24.2%
年に数回程度	228	31.5%
年に1回程度	80	11.0%
合計	724	100%

Q 運賃に対してあなたの考えに最も近いものはどれですか。		
	件数	%
サービス(本数や経路地)を縮小してでも、現状の運賃(100円)を維持する	334	28.5%
運賃の値上げをしてでも現状のサービス(本数や経路地)を維持する	529	45.2%
その他	186	15.9%
わからない	111	9.5%
回答なし	10	0.9%
合計	1,170	100%



Q 「利用する視点」から、運賃はいくらが妥当だと思いますか。		
	件数	%
100円のまま	401	34.3%
150円(米子市循環バスと同額)	426	36.4%
170円(路線バスと同額)	98	8.4%
200円	143	12.2%
わからない	47	4.0%
その他	55	4.7%
合計	1,170	100%

Q 「納税する立場」としては、運賃はいくらが妥当だと思いますか。		
	件数	%
100円のまま	264	28.9%
150円(米子市循環バスと同額)	328	36.0%
170円(路線バスと同額)	100	11.0%
200円	146	16.0%
わからない	41	4.5%
その他	33	3.6%
合計	912	100%

《未回答者あり》